

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 CRGホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7041 URL https://www.crgh.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 康浩
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部部長 (氏名) 福原 将之 (TEL) 03-6302-0834
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	12,532	△4.1	237	652.5	184	—	69	—
2024年9月期第3四半期	13,073	△19.1	31	△76.5	4	△96.9	△81	—

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 71百万円(—%) 2024年9月期第3四半期 △84百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	12.56	12.52
2024年9月期第3四半期	△14.80	—

(注) 2024年9月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	12,805	2,828	22.1
2024年9月期	13,253	2,765	20.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 2,828百万円 2024年9月期 2,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.3	600	565.7	500	—	250	—	45.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ニューライフサポート

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	5,527,200株	2024年9月期	5,527,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	126株	2024年9月期	126株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	5,527,074株	2024年9月期3Q	5,495,407株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、政府による各種政策の効果もあり国内景気は緩やかな回復傾向にて推移しました。一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響やアメリカの通商政策の影響など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。また、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等の影響には十分注視する必要があります。

当社グループが属する人材サービス業界におきましては、2025年6月の有効求人倍率（季節調整値）は1.22倍で前期末から低下傾向にあり、完全失業率（季節調整値）は2.5%で前期末と同水準でした。

このような市場環境のもと、当社グループにおきましては、主力の人材派遣紹介事業における継続的な労働力の提供に加え、業務効率化の支援を行うことを目的に、人材派遣紹介事業にて培ったナレッジを活かした採用支援・BPOなどの各種代行事業やDXソリューション事業を行っており、少子高齢化に伴う人手不足という課題を解決するためのトータルサポートを提供してまいりました。近年では、これまで以上に期待されているシニア、女性、グローバル人材の活用や、障がいをお持ちの方の雇用機会の創出や処遇の確保・改善にも注力することに加え、専門人材による通訳・翻訳サービスの提供を開始するなど事業領域を拡大させております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力の人材派遣紹介事業において、物流・製造向け人材派遣が堅調に推移したことに加え、グループ間の顧客データベース等を活用したクロスセルの強化や新規事業である障がい者雇用サポートにおける新規顧客の獲得に注力してまいりました。

また、完全子会社である株式会社オシエテにおいては、近年のインバウンド需要の拡大を受けて、外国人観光客を対象とした民泊事業に本格参入しており、東急不動産ホールディングス株式会社の子会社であるReINN株式会社との間で、業務提携契約を締結いたしました。本業務提携により、オシエテ社とReINN社が提供する民泊事業の分野において、両社の知見及びネットワークその他の経営資源を相互に有効活用し、サービス提供範囲の拡大と収益基盤の強化に取り組むことで、当該分野における両社の競争力の向上を図るとともに、本事業の更なる成長を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,532百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は237百万円（前年同期比652.5%増）、経常利益は184百万円（前年同期は4百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期は81百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりとなります。

①HR関連事業

HR関連事業は、顧客企業の人材に係る課題解決のため、人材派遣・人材紹介・製造請負・その他BPO・障がい者雇用サポート・通訳翻訳などの幅広いサービスを展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、物流・製造向け人材派遣が堅調に推移したことに加え、事業ポートフォリオの多様化を進め、安定した収益体制の構築に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は12,076百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント利益は147百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

②フィナンシャル事業

フィナンシャル事業は、事業者向け金融業やM&A仲介・投資サービスを展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、優良な融資先への貸付が継続したことにより、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は455百万円（前年同期比426.8%増）、セグメント利益は167百万円（前年同期比236.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は12,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円減少いたしました。これは主に、営業貸付金が294百万円、有形固定資産が130百万円増加したものの、現金及び預金が741百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は9,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ510百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が73百万円、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が63百万円増加したものの、短期借入金が268百万円、流動負債その他が218百万円、未払法人税等が155百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。これは主に、非支配株主持分が9百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が69百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の通期の業績予想につきましては、前回公表(2024年11月14日付)いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,462,283	1,720,664
受取手形及び売掛金	1,622,042	1,650,020
営業貸付金	5,535,769	5,830,224
棚卸資産	14,013	59,457
その他	505,418	325,434
貸倒引当金	△60,388	△69,858
流動資産合計	10,079,138	9,515,941
固定資産		
有形固定資産	1,521,505	1,651,825
無形固定資産		
のれん	600,332	549,613
顧客関連資産	120,652	108,242
その他	66,261	47,303
無形固定資産合計	787,246	705,158
投資その他の資産		
投資有価証券	592,300	610,584
その他	275,305	323,660
貸倒引当金	△2,110	△1,690
投資その他の資産合計	865,495	932,554
固定資産合計	3,174,248	3,289,539
資産合計	13,253,387	12,805,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,958	134,717
短期借入金	6,565,800	6,296,903
1年内返済予定の長期借入金	217,196	362,156
1年内償還予定の社債	475,510	475,510
未払法人税等	175,486	20,088
未払費用	978,967	1,038,100
賞与引当金	112,966	69,220
店舗閉鎖損失引当金	8,914	—
株主優待引当金	19,578	—
契約負債	10,882	19,774
その他	560,591	342,060
流動負債合計	9,186,853	8,758,532
固定負債		
長期借入金	1,215,037	1,133,440
退職給付に係る負債	45,748	47,595
その他	39,865	37,853
固定負債合計	1,300,651	1,218,889
負債合計	10,487,504	9,977,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	448,519	448,519
資本剰余金	678,806	678,606
利益剰余金	1,631,808	1,701,455
自己株式	△111	△111
株主資本合計	2,759,023	2,828,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,765	△410
その他の包括利益累計額合計	△2,765	△410
非支配株主持分	9,624	—
純資産合計	2,765,882	2,828,059
負債純資産合計	13,253,387	12,805,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)
売上高	13,073,532	12,532,469
売上原価	10,190,808	9,418,049
売上総利益	2,882,724	3,114,419
販売費及び一般管理費	2,851,224	2,877,365
営業利益	31,500	237,053
営業外収益		
受取利息及び配当金	261	831
助成金収入	3,293	1,905
太陽光売電収入	—	3,112
還付加算金	—	713
雑収入	2,818	2,196
営業外収益合計	6,372	8,759
営業外費用		
支払利息	10,134	47,518
支払手数料	12,890	4,061
シンジケートローン手数料	2,368	1,341
投資事業組合運用損	4,276	7,306
事務所移転費用	3,112	—
その他	926	1,412
営業外費用合計	33,708	61,640
経常利益	4,165	184,171
特別利益		
固定資産売却益	—	3,517
その他	—	110
特別利益合計	—	3,628
特別損失		
固定資産売却損	—	69
投資有価証券評価損	28,935	1,602
役員退職慰労金	—	84,000
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18,202	—
その他	—	1,151
特別損失合計	47,138	86,823
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,973	100,977
法人税、住民税及び事業税	83,425	96,033
法人税等調整額	△44,900	△64,344
法人税等合計	38,525	31,689
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,498	69,287
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	△147
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,330	69,434

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,498	69,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,765	2,354
その他の包括利益合計	△2,765	2,354
四半期包括利益	△84,263	71,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,095	71,789
非支配株主に係る四半期包括利益	△167	△147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されますが、該当する事象はなく、当該会計方針の変更による前年同四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において当社の連結子会社であった株式会社ニューライフサポートは、2025年6月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	HR関連事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,986,976	86,556	13,073,532	—	13,073,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,516	—	9,516	△9,516	—
計	12,996,492	86,556	13,083,049	△9,516	13,073,532
セグメント利益	127,819	49,669	177,489	△145,988	31,500

(注) セグメント利益の調整額△145,988千円は、セグメント間取引消去並びに各事業セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社クレイリッシュの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「フィナンシャル事業」のセグメント資産が5,153,382千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社クレイリッシュを連結の範囲に含めたことに伴い「フィナンシャル事業」においてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は233,238千円ですが、当該のれんの金額は当第3四半期連結累計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	HR関連事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,076,513	455,955	12,532,469	—	12,532,469
計	12,076,513	455,955	12,532,469	—	12,532,469
セグメント利益	147,083	167,189	314,273	△77,219	237,053

(注) セグメント利益の調整額△77,219千円は、セグメント間取引消去並びに各事業セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は、主に各事業セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん及び顧客関連資産の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	58,336千円	98,279千円
のれんの償却額	42,877千円	69,925千円
顧客関連資産の償却額	5,274千円	12,410千円